令和3年度　施策評価シート

基本目標	Ⅱ	地域で快適に暮らせる「すみだ」をつくる
政策	220	区民が安全・快適・便利に暮らし、人々の交流が生まれ、移動しやすいまちをつくる
施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する
施策の目標	鉄道立体化による踏切事故防止や渋滞解消、また、道路のバリアフリー化等により、誰もが安全・安心で快適に暮らせる交通環境が整備されています。	

1　基本計画における成果指標の状況

指　標　名	**道路のバリアフリー整備延長**									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	10,290				13,080					14,630
実績	10,290				12,567					

指　標　名	**「区内の交通環境に満足している」区民の割合**									
	基準年(H28)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	79.0				82.0					85.0
実績	79.0				82.0					

2　目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移（千円）	
道路のバリアフリー整備延長は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会による道路景観整備工事等により増加している。 また、令和3年度以降についても、墨田区交通バリアフリー道路特定事業計画に基づき、整備延長の増加が見込まれる。 東武伊勢崎線(とうきょうスカイツリー駅付近)立体化事業、自転車駐車場整備、公園等公衆トイレ整備事業など交通環境に関する様々な事業展開により、区民の交通環境への満足度も増加すると期待される。	H30	4,093,691
	R1	2,559,147
	R2	1,564,279

3　施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	計画どおり事業は進んでいるが、目標以上の成果までは不明なため。

4　今後の施策の運営方針

評価結果	施策の戦略的方向性
	（1）　優先的に資源投入を図る。
○	（2）　現状維持とする。
	（3）　現状維持だが、より効率的な運営を図る。
	（4）　資源投入の縮小を図る。

【上記の判断理由】

墨田区交通バリアフリー道路特定事業計画に基づき、引き続き、区民・来街者が安全で快適に利用できる交通環境を確実に整備していく必要がある。

【今後の具体的な方針】

他企業工事との工程調整や進捗管理などを徹底し、事業を進めていく。

５　この施策に係る事務事業（重要度・貢献度順）

番号	事務事業名	歳出決算額（千円）	人コスト（千円）	歳出総額（千円）	目的に対する指標 年度目標値 年度実績値	直近の評価内容 評価結果 評価対象年度
1	橋梁の架替・撤去事業費	93,597	7,058	100,655	82 82	現状維持 令和2年度
2	公園便所改築事業費	52,547	12,351	64,898	48 41.5	改善・見直しのうえ継続 令和2年度
3	公衆便所改築事業費	4,199	12,351	16,550	48 41.5	改善・見直しのうえ継続 令和2年度
4	自転車駐車場利用環境整備費	30,572	6,175	36,747	5 2	現状維持 令和2年度
5	道路バリアフリー整備事業費	142,857	7,058	149,915	82 82	改善・見直しのうえ継続 令和2年度
6	北部地区幹線道路バリアフリー整備事業費	7,425	4,411	11,836	82 82	現状維持 令和2年度
7	橋梁長寿命化事業費	117,401	4,411	121,812	28 32.3	現状維持 令和2年度
8	無電柱化整備事業費	24,829	7,058	31,887	82 82	現状維持 令和2年度
9	道路改良費（路面改修工事）	92,315	11,469	103,784	82 82	改善・見直しのうえ継続 令和2年度
10	道路改良費（公共用地適正化）	21,168	12,351	33,519	82 82	現状維持 令和2年度
11	歩行者・自転車通行空間再整備事業費	2,769	7,058	9,827	82 82	現状維持 令和2年度
12	錦糸町駅周辺自転車総合管理事業費	151,265	6,175	157,440	100 95	現状維持 令和2年度
13	自転車駐車場等維持管理費	113,574	16,762	130,336	1,000 1,111	現状維持 令和2年度
14	放置自転車対策費	73,506	12,351	85,857	640 412	現状維持 令和2年度
15	道路維持事業費	411,899	14,144	426,043	28 32.3	現状維持 令和2年度

16	橋梁維持費	1,163	7,058	8,221	28	現状維持
					32.3	令和2年度
17	交通安全施設維持管理費	108,380	4,411	112,791	28	現状維持
					32.3	令和2年度
18	公衆便所維持管理費	66,750	12,351	79,101	48	現状維持
					41.5	令和2年度
19	法定外公共物維持管理事業費	8,488	9,704	18,192	28	現状維持
					32.3	令和2年度
20	駐車場維持管理費	7,725	1,764	9,489	13,840	現状維持
					11,958	令和2年度
21	道路台帳整備費	12,360	13,233	25,593	10,000	現状維持
					10,966	令和2年度
22	公共用地境界確定事業費	1,188	29,112	30,300	2,000	現状維持
					2,407	令和2年度
23	法定外公共物・法定公共物移管事業費	806	25,584	26,390	5	現状維持
					20	令和2年度
24	交通安全普及啓発費	949	5,293	6,242	450	現状維持
					429	令和2年度
25	スクールゾーン育成事業費	548	5,293	5,841	10	現状維持
					12	令和2年度
26	交通安全協会補助金	7,050	3,529	10,579	450	現状維持
					429	令和2年度
27	機械式地下自転車駐車場整備費	3,504	4,411	7,915	100	廃止を検討
					95	令和2年度
28	一般交通量調査	5,445	4,411	9,856	11	現状維持
					11	令和2年度
29						
30						

令和3年度　事務事業評価シート

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する	部内優先順位
事業名	橋梁の架替・撤去事業費		1
目的	墨田区橋梁長寿命化修繕計画に基づき、架設から耐用目標年数100年に近づく橋梁の計画な架替・撤去道路整備を行う。		主管課・係（担当） 道路公園課計画調整担当 03-5608-6291
対象者	区民、来街者		
根拠法令関連計画	道路法、墨田区橋梁長寿命化修繕計画		

実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤3

事業内容

区が管理している25橋梁のうち、築80年以上経過したものが7橋（架替中の南辻橋除く）、築50～80年未満の橋梁も3橋あり、老朽化が進んでいる。
平成22年度に墨田区橋梁長寿命化修繕計画を策定し、平成27年度と令和2年度に見直しを行った。
この計画に基づき、架設から耐用目標年数100年に近づく橋梁は、計画的な架替・撤去道路整備を行う。

開始年度	平成22年度	終了予定	—

経過

橋梁点検及び橋梁長寿命化修繕計画
［平成22年度］　橋梁長寿命化修繕計画の策定
［平成26年度］　橋梁点検
［平成27年度］　計画の見直し
［令和元年度］　橋梁点検
［令和 2年度］　計画の見直し
過去3年間の実績
［平成30年度］　南辻橋上部工撤去工事
［令和2年度］　南辻橋橋脚撤去工事、新辻橋概略設計

議会質問の状況

［平成30年4定］ 竪川の橋梁は都道以外は架替えが進んでいないが、今後の架替えの順位は公表するべきである。

その他特記事項

（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）

南辻橋　平成27～令和6年度予定 【架替】
新辻橋　令和2年度～ 【撤去・道路築造】
小梅橋　令和元年度【架替完了】（北十間川・隅田公園観光回遊路整備事業）

予算・決算額推移（千円）		２８年度	２９年度	３０年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
予算現額（事業費）		45,415	52,555	67,534	252,053	248,710	244,510
A.決算額（令和３年度は見込み）		45,413	50,931	66,007	0	93,597	244,510
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		45,413	50,931	66,007	0	93,597	244,510
執行率（%）		100.0%	96.9%	97.7%	0.0%	37.6%	100.0%
B.人コスト				31, 084	9, 087	7, 058	
総事業決算額（A+B）		45, 413	50, 931	97, 091	9, 087	100, 655	

主な事業費用の説明	・橋梁架替工事の設計委託、工事 ・橋梁撤去・道路築造工事の設計委託、工事

予算書P（令和3年度）	P212 4-3	執行実績報告書P（令和2年度）	P155-3

事業の成果

手段に対する指標（活動指標）

指　標	架替えが完了した橋梁数（累計）					単　位	橋
最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
2	R7	目標	0	0	0	0
		実績	0	0	0	0
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	0	0	1	1	2	2
実績	0					

指標の選定理由及び目標値の理由

事業の進捗を具体的に把握できるため、架替えが完了した橋梁数を目標値とした。

目的に対する指標（成果指標）

指　標	「区内の交通環境に満足している」区民の割合					単　位	%
最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
85	R7	目標	79	—	80.5	—
		実績	79	—	79	—
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	82	—	83.5	—	85	85
実績	82					

指標の選定理由及び目標値の理由

橋梁の架替えによる歩道の拡幅やバリアフリー化により、交通環境に対する区民満足度の増加が見込まれる。

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	長寿命化修繕計画に基づき、事業を着実に進めていく。

課題・問題点

橋梁の健全度評価は経年で劣化していくことから計画通りの架替等が必要であるが、多くの事業費と期間を要するため後期基本計画との整合性を図りながら執行していく必要がある。

令和3年度　事務事業評価シート

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する	部内優先順位
事業名	公園便所改築事業費		2
目的	老朽化したトイレの改築を行うとともに、「だれでもトイレ」を設置するほか、地域性を考慮し、震災対応型トイレの設置も積極的に検討する。 また、だれもが安心・安全・快適に利用できるまち歩きトイレを整備することにより、区民や観光客が快適なまち歩き観光を楽しめるようにする。		主管課・係（担当） 道路公園課計画調整担当 03-5608-6661
対象者	区民、来街者		
根拠法令関連計画	都市公園法、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の推進に関する法律 墨田区立公園条例、墨田区公衆便所に関する条例、東京都福祉のまちづくり条例		

実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤5

事業内容	公園等公衆トイレについては、老朽度や利用状況から改築が必要なトイレ、今後観光客の利用が見込まれるトイレなどを、地域バランスに配慮しながら、順次改築している。 一方、トイレの洋式化について、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、外国人観光客の増加が想定されることから、ブース内の改修工事で対応できるトイレは、令和元年度までに完了した。			
経過	開始年度	—	終了予定	—
	過去3年間の実績 [平成30年度] 改　築　八広第1児童遊園 洋式化　ささのは児童遊園　1か所（2基） [令和元年度] 洋式化　中和公園（2基）、横川さんかく公園（2基） [令和2年度] 改　築　若宮公園、とちのき児童遊園、隅田第二児童遊園			
議会質問の状況	[平成30年決特] 区内に公衆トイレが多いので適正配置を行うべきである。 [平成30年予特] トイレ洋式化は、地域の優先順位をつけず公平性を保ち、全地区速やかに行うこと。 [令和元年11月] 公園・公衆トイレの適正配置について考える時期ではないか。 [令和3年3月] 立花周辺の公衆トイレについて、古くてあまりきれいでなく、外で働く宅配業等の方は利用しづらい。			
その他特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 特になし			

予算・決算額推移（千円）		２８年度	２９年度	３０年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
予算現額（事業費）		5,000	47,700	16,600	6,000	52,747	22,500
A.決算額（令和３年度は見込み）		4,976	45,020	15,885	4,510	52,547	22,500
財源	国		3,000				
	都	4,002	7,950	4,639	1,908		8,750
	その他						
一般財源		974	34,070	11,246	2,602	52,547	13,750
執行率（%）		99.5%	94.4%	95.7%	75.2%	99.6%	100.0%
B.人コスト				44, 405	11, 316	12, 351	
総事業決算額（A+B）		4, 976	45, 020	60, 290	15, 826	64, 898	

主な事業費用の説明	公園便所の撤去及び改築並びに便器の洋式化への改修費

予算書P（令和3年度）	P217 1-3	執行実績報告書P（令和2年度）	P160-3

事業の成果

手段に対する指標（活動指標）

指　標	改築数（累計）				単　位	箇所
最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R１
54	R7	目標	36	39	40	42
		実績	36	39	40	40
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	44	46	48	50	52	54
実績	43					

指標の選定理由及び目標値の理由

老朽度や利用状況、今後利用が見込まれるトイレの改築数を目標値とした。

目的に対する指標（成果指標）

指　標	「公園・遊び場」に満足している」区民の割合				単　位	%
最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
50	R7	目標	46.7	—	47	—
		実績	46.7	—	42.4	—
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	48	—	49	—	50	50
実績	41.5					

指標の選定理由及び目標値の理由

だれもが安全・安心・快適に利用できるトイレの整備が、公園・遊び場に満足している区民の割合につながる。

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	耐用年数を超過している公園等公衆トイレが多く存在しており、今後も増加していくことから、改築のペースを上げる必要がある。

課題・問題点

区面積当たりの公園等公衆トイレの数が多く、改築や維持管理に多額のコストがかかっていることや、区内のトイレの位置に偏りがあること等、トイレの使われ方を整理した上で、区における適正なトイレの数や位置、仕様等を検討し、トイレの集約を含めた改築計画を策定する必要がある。

令和3年度　事務事業評価シート

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する	部内優先順位
事業名	公衆便所改築事業費		3
目的	老朽化したトイレの改築を行うとともに、「だれでもトイレ」を設置するほか、地域性を考慮し、震災対応型トイレの設置も積極的に検討する。 また、だれもが安心・安全・快適に利用できるまち歩きトイレを整備することにより、区民や観光客が快適なまち歩き観光を楽しめるようにする。		主管課・係（担当） 道路公園課計画調整担当 03-5608-6661
対象者	区民、来街者		
根拠法令関連計画	都市公園法、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の推進に関する法律 墨田区立公園条例、墨田区公衆便所に関する条例、東京都福祉のまちづくり条例		

実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤5

事業内容	公園等公衆トイレについては、老朽度や利用状況から改築が必要なトイレ、今後観光客の利用が見込まれるトイレなどを、地域バランスに配慮しながら、順次改築している。 一方、トイレの洋式化について、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、外国人観光客の増加が想定されることから、ブース内の改修工事で対応できるトイレは、令和2年度までに完了した。			
経過	開始年度	—	終了予定	—
	過去3年間の実績 [平成30年度]　洋式化　横川橋際、法恩寺橋際、菊川橋際、慰霊堂北側、慰霊堂南側　5か所（9基） [令和元年度]　洋式化　江東橋二丁目、永倉　2か所（2基） [令和2年度]　洋式化　からたち、吾嬬西公園内、福神橋際、梅若公園内			
議会質問の状況	[平成30年決特]　区内に公衆トイレが多いので適正配置を行うべきである。 [平成30年予特]　トイレ洋式化は、地域の優先順位をつけず公平性を保ち、全地区速やかに行うこと。 [令和元年11月]　公園・公衆トイレの適正配置について考える時期ではないか。 [令和3年3月]　立花周辺の公衆トイレについて、古くてあまりきれいでなく、外で働く宅配業等の方は利用しづらい。			
その他特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 特になし			

予算・決算額推移（千円）		２８年度	２９年度	３０年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
予算現額（事業費）		5,000	0	6,600	9,798	4,266	0
A.決算額（令和３年度は見込み）		4,976	0	4,053	9,088	4,199	0
財源	国						
	都			2,700	2,604		
	その他						
一般財源		4,976	0	1,353	6,484	4,199	0
執行率（%）		99.5%	#DIV/0!	61.4%	92.8%	98.4%	#DIV/0!
B.人コスト				53, 286	11, 316	12, 351	
総事業決算額（A+B）		4, 976	0	57, 339	20, 404	16, 550	
主な事業費用の説明		公衆便所の撤去及び改築並びに便器の洋式化への改修費					

予算書P（令和3年度）	無し	執行実績報告書P（令和2年度）	P162-2

事業の成果

手段に対する指標（活動指標）

指標	改築数（累計）				単位	箇所
最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R１
27	R7	目標	18	19	20	21
		実績	18	19	20	20
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	22	23	24	25	26	27
実績	20					

指標の選定理由及び目標値の理由

老朽度や利用状況、今後利用が見込まれるトイレの改築数を目標値とした。

目的に対する指標（成果指標）

指標	「公園・遊び場」に満足している」区民の割合				単位	%
最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
50	R7	目標	46.7	—	47	—
		実績	46.7	—	42.4	—
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	48	—	49	—	50	50
実績	41.5					

指標の選定理由及び目標値の理由

だれもが安全・安心・快適に利用できるトイレの整備が、公園・遊び場に満足している区民の割合につながる。

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	耐用年数を超過している公園等公衆トイレが存在しており、今後も増加していくことから、改築のペースを上げる必要がある。

課題・問題点

区面積当たりの公園等公衆トイレの数が多く、改築や維持管理に多額のコストがかかっていることや、区内のトイレの位置に偏りがあること等、トイレの使われ方を整理した上で、区における適正なトイレの数や位置、仕様等を検討し、トイレの集約を含めた改築計画を策定する必要がある。

令和3年度　事務事業評価シート

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する	部内優先順位
事業名	自転車駐車場利用環境整備費		4
目的	自転車駐車場の利用者が安全で快適に利用できる環境が整っている。		主管課・係（担当） 土木管理課交通安全担当 03-5608-6203
対象者	自転車利用者		
根拠法令 関連計画	墨田区自転車の利用秩序及び自転車駐車場の整備に関する条例 墨田区自転車利用総合方針		

実施基準	区独自基準	実施方法	一部委託	人員体制・委託先	常勤4・会計年度任用制度職員2、委託先：墨田区シルバー人材センター

事業内容

●整理員の配置
　平日の混雑が顕著な駅に整理員を配置
●自転車駐車場管理システムの導入
　自転車駐車場の利用者情報及び空き状況等のデータベース化を行い、手続き期間の短縮や納付確認等の事務のスピードアップ化を図る。
●自転車駐車場施設修繕工事
　経年により、老朽化した自転車駐車場等を修繕

開始年度	平成29年度	終了予定	令和2年度

経過

［平成30年度］　自転車駐車場管理システムのクライアントPCを錦糸町駅南口地下自転車駐車場に導入
　　押上駅前導入済みシステムのクライアントPCを庁舎に導入
　　経年により老朽化した自転車駐車場の修繕
［令和元年度］　錦糸町駅各地下自転車駐車場にゲートシステム導入
　　第2種特定自転車駐車場利用者の交通系ICカードによる支払に対応
　　経年により老朽化した自転車駐車場の修繕
［令和2年度］　錦糸町駅北口地下自転車駐車場の防災監視盤の入替（リース）
　　押上駅前自転車駐車場の2段式上段ラックの入替（リース）

議会質問の状況

［平成30年決特］　放置自転車の状況について ほか
［令和元年10月］　押上駅前自転車駐車場のラックの故障について

その他特記事項

（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）

特になし

予算・決算額推移（千円）		２８年度	２９年度	３０年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
予算現額（事業費）			31,490	16,491	23,227	32,698	27,330
A.決算額（令和３年度は見込み）			22,966	16,167	20,570	30,572	27,330
財源	国						
	都						
	その他			16,167	20,570	30,572	11,330
一般財源		0	22,966	0	0	0	16,000
執行率（%）		#DIV/0!	72.9%	98.0%	88.6%	93.5%	100.0%
B.人コスト				3, 937	3, 495	6, 175	
総事業決算額（A+B）		0	22, 966	20, 104	24, 065	36, 747	

主な事業費用の説明

　平成29年度の利用料金改定にともない老朽化した自転車駐車場設備等の更新を実施して利用環境の向上を図る。

予算書P（令和3年度）	P214 6-8	執行実績報告書P（令和2年度）	P157-8

事業の成果

手段に対する指標（活動指標）

指標	修繕した自転車駐車場の数（累計）				単位	箇所
最終目標値	目標年度		H28	基準年（H29）	H30	R１
30	R7	目標	－	9	18	27
		実績	－	9	14	23
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	30	30	30	30	30	30
実績	26					

指標の選定理由及び目標値の理由

施設修繕によって安全で快適に利用できる環境が維持できる。

目的に対する指標（成果指標）

指標	自転車駐車場施設に関する広聴カードによる要望・苦情の数				単位	件/年
最終目標値	目標年度		H28	基準年（H29）	H30	R１
3	R7	目標	－	5	5	5
		実績	－	9	8	7
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	5	4	4	4	4	3
実績	2					

指標の選定理由及び目標値の理由

自転車駐車場に対しての要望・苦情の数が減少することで利用環境の向上が図れる。

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	自転車駐車場の利用者のニーズに合わせた施設修繕をすることで利用環境の向上が図られており、今後も利用環境の向上と事業の効率化を図る。

課題・問題点

令和3年度は、特定自転車駐車場利用希望者の利便性向上のため、利用申請受付事務の一括委託化を行い、併せてWEB申請及びオンライン申請化を導入するが、紙申請しかできない利用者への対応が課題である。
継続的な施設の運営には、老朽化や破損の手当てが欠かせない。
しかし、各施設の修繕箇所は年々増加することが予想されるため、高額な修繕費用を継続的に確保する必要がある。

令和3年度　事務事業評価シート

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する	部内優先順位
事業名	道路バリアフリー整備事業費		5
目的	「墨田区交通バリアフリー道路特定事業計画」に基づき、道路のバリアフリー化を行うことにより、安全で快適に移動できる歩道環境を整備する。		主管課・係（担当） 道路公園課計画調整担当 03-5608-6291
対象者	区民、来街者		
根拠法令関連計画	道路法、東京都福祉のまちづくり条例、墨田区交通バリアフリー道路特定事業計画		

実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤3

事業内容

平成27年度に策定した「墨田区交通バリアフリー道路特定事業計画」に基づき、優先整備地区である「とうきょうスカイツリー・押上・本所吾妻橋駅周辺地区」において道路のバリアフリー化を行うことにより、東京スカイツリー周辺を訪れる高齢者や障害者を含む全ての歩行者が、安全で快適に移動できる歩道環境を整備する。

また、歩道の整備に合わせて老木化・大木化した街路樹の花の咲く木への植替えも行い、通行者や沿道住民に潤いと安らぎを与えるような道路空間整備を図る。

なお、墨111号路線については、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に伴う主要観光施設周辺の重点区間として、大会開催までに整備を完了した。

小梅通りについては、下水道管再構築工事が令和元年度に完了予定のため、令和元年度に設計委託を行い、下水道局の受託事業費を活用して令和2年度から3箇年で整備工事を実施する。

経過	開始年度	平成27年度	終了予定	—

過去3年間の実績
[平成30年度]　特別区道墨111号路線（浅草通り～春日通り）　街路灯改修
[令和元年度]　特別区道墨111号路線（浅草通り～春日通り）　延長500m
特別区道墨26号路線（小梅通り）測量及び設計委託（言問通り～墨113号路線交差点）　延長750m
[令和2年度]　特別区道墨26号路線（小梅通り）整備工事（3工区）　延長242m

議会質問の状況

[平成31年1定]　交通バリアフリー道路特定事業計画において、曳舟駅周辺地区に続く重点整備地区についてはどのような方針か。

その他特記事項

（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）

[令和3年度予定]　特別区道墨26号路線（小梅通り）整備工事（2工区）　延長246m

予算・決算額推移（千円）		２８年度	２９年度	３０年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
予算現額（事業費）		0	1,052	19,380	266,340	145,700	150,000
A.決算額（令和３年度は見込み）		0	10,280	18,380	258,312	142,857	150,000
財源	国				41,000		
	都		9,955		20,500	42,300	36,000
	その他						
一般財源		0	325	18,380	196,812	100,557	114,000
執行率（%）		#DIV/0!	977.2%	94.8%	97.0%	98.0%	100.0%
B.人コスト				26, 643	6, 789	7, 058	
総事業決算額（A+B）		0	10, 280	45, 023	265, 101	149, 915	

主な事業費用の説明	・道路バリアフリー整備設計委託、工事

予算書P（令和3年度）	P212　4-6	執行実績報告書P（令和2年度）	P156-7の一部

事業の成果

手段に対する指標（活動指標）

指標	道路バリアフリー整備延長（累計）				単位	m
最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
14,630	R7	目標	10,290	10,980	11,680	12,380
		実績	10,290	10,735	11,826	12,325
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	13,080	13,390	13,700	14,010	14,320	14,630
実績	12,567					

指標の選定理由及び目標値の理由

事業の進捗状況を具体的に把握できるため。

目的に対する指標（成果指標）

指標	「区内の交通環境に満足している」区民の割合				単位	%
最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
85	R7	目標	79	—	80.5	—
		実績	79	—	79	—
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	82	—	83.5	—	85	85
実績	82					

指標の選定理由及び目標値の理由

歩道の有効幅員の確保、段差の解消といった道路改善を行い、歩道のバリアフリー化を図ることにより、区内の交通環境に満足する区民も増加する。

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	事業実施に当たり、国庫補助金を活用するなどコスト削減を図っている。 地域住民だけでなく多くの来街者に対し、安全で快適な道路利用環境を提供する必要がある。

課題・問題点

墨田区交通バリアフリー道路特定事業計画による道路のバリアフリー整備は、多くの事業費や期間がかかり、事業が計画どおりに進んでいないため、着実に進める必要がある。

令和3年度　事務事業評価シート

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する	部内優先順位
事業名	北部地区幹線道路バリアフリー整備事業費		6
目的	墨田区北部地区の主要な幹線道路において、安全で快適に移動できる歩道環境を整備する。		主管課・係（担当） 道路公園課計画調整担当 03-5608-6291
対象者	区民、来街者		
根拠法令関連計画	道路法、東京都福祉のまちづくり条例		

実施基準	都基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2

事業内容	墨田区北部地区の交通網において主要な幹線道路である墨119号路線（曳舟川通り）と墨122号路線（中居堀通り）について、道路のバリアフリー化を図ることにより高齢者や障害者を含む全ての歩行者が、安全で快適に移動できる歩道環境を整備する。 さらに、歩道の整備に合わせて老木化・大木化した街路樹の花の咲く木への植替えも行い、通行者や沿道住民に潤いと安らぎを与えるような道路空間整備を図る。		
経過	開始年度	平成29年度	終了予定　令和6年度
	過去3年間の実績 ［平成30年度］ 墨122号路線（中居堀通り） 延長 595m ［令和元年度］ 墨119号路線（曳舟川通り） 延長 200m		
議会質問の状況	特になし		
その他特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） ［平成29年度～令和6年度］ 墨119号路線（曳舟川通り） 延長1,140m		

予算・決算額推移（千円）		２８年度	２９年度	３０年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
予算現額（事業費）		0	17,620	213,170	136,200	7,425	163,600
A.決算額（令和３年度は見込み）		0	17,138	213,169	120,096	7,425	163,600
財源	国						
	都			56,859	33,595		
	その他						
一般財源		0	17,138	156,310	86,501	7,425	163,600
執行率（%）		#DIV/0!	97.3%	100.0%	88.2%	100.0%	100.0%
B.人コスト				26, 643	4, 526	4, 411	
総事業決算額（A+B）		0	17, 138	239, 812	124, 622	11, 836	
主な事業費用の説明		・道路バリアフリー整備設計委託、工事					

予算書P（令和3年度）	P212 4-6	執行実績報告書P（令和2年度）	P156-7の一部

事業の成果

手段に対する指標（活動指標）

指標	北部地区幹線道路バリアフリー整備延長（累計）				単位	m
最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
1,735	R5	目標	0	0	595	795
		実績	0	0	595	795
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	795	1,065	1,415	1,735		
実績	795					

指標の選定理由及び目標値の理由

事業の進捗が把握できるバリアフリー整備延長を目標値とした。

目的に対する指標（成果指標）

指標	「区内の交通環境に満足している」区民の割合				単位	%
最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
83.5	R5	目標	79	—	80.5	—
		実績	79	—	79	—
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	82	—	83.5	—	85	
実績	82					

指標の選定理由及び目標値の理由

歩道の有効幅員の確保、段差の解消といった道路改善を行い、歩道のバリアフリー化を図ることにより、区内の交通環境に満足する区民も増加する。

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	墨119号路線（曳舟川通り）は、水道局が本管更新工事を行うことから、復旧舗装工事を区が受託するなど全体工期短縮やコスト削減を図りながら整備を進めていく。

課題・問題点

今後も北部地区におけるバリアフリー化を進捗させるためには、他の路線でも占用企業者工事に合わせて整備を行い、コストの削減を図る等の検討が必要である。
墨田区交通バリアフリー道路特定事業計画に含まれていない地域があるため、墨田区の全域を対象として計画の見直しを行い、計画的に事業を進める必要がある。

令和3年度　事務事業評価シート

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する			部内優先順位
事業名	橋梁長寿命化事業費				7
目的	墨田区橋梁長寿命化修繕計画に基づき、健全度の低い橋梁の予防保全型修繕を行う。				主管課・係（担当） 道路公園課計画調整担当 03-5608-6291
対象者	区民、来街者				
根拠法令関連計画	道路法、墨田区橋梁長寿命化修繕計画				
実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤2
事業内容	区が管理している25橋梁のうち、築80年以上経過したものが7橋（架替中の南辻橋除く）、築50～80年未満の橋梁も3橋あり、老朽化が進んでいる。 平成22年度に墨田区橋梁長寿命化修繕計画を策定し、平成27年度と令和2年度に見直しを行った。 この計画に基づき、築年数が浅いが健全度の低い橋梁は、予防保全的な補修整備を行う。				
経過	開始年度	平成22年度	終了予定	—	
	橋梁点検及び橋梁長寿命化修繕計画 ［平成22年度］　橋梁長寿命化修繕計画の策定 ［平成26年度］　橋梁点検 ［平成27年度］　計画の見直し ［令和元年度］　橋梁点検 ［令和 2年度］　計画の見直し 過去3年間の実績 ［令和2年度］　平井橋補修工事				
議会質問の状況	［平成29年予特］ 平井橋は江戸川区との境に架かる橋であるため、江戸川区との共同で実施するべきである。				
その他特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 令和3年度　千歳橋補修工事				

予算・決算額推移（千円）		２８年度	２９年度	３０年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
予算現額（事業費）		10,500	158,500	0	135,000	150,378	130,000
A.決算額（令和３年度は見込み）		8,970	113,335	0	0	117,401	130,000
財源	国		26,125			18,500	20,900
	都						
	その他					42,738	
一般財源		8,970	87,210	0	0	56,163	109,100
執行率（%）		85.4%	71.5%	0.0%	0.0%	78.1%	100.0%
B.人コスト						4, 411	
総事業決算額（A+B）		8, 970	113, 335	0	0	121, 812	
主な事業費用の説明		・橋梁補修設計委託、工事					
予算書P（令和3年度）	P213　5-2		執行実績報告書P（令和2年度）		P156-2		

事業の成果

手段に対する指標（活動指標）

指標	長寿命化修繕計画に基づく修繕橋梁数（累計）				単位	橋/年
最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
7	R7	目標	0	1	1	2
		実績	0	1	1	1
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	2	3	3	5	6	7
実績	2					

指標の選定理由及び目標値の理由

長寿命化修繕計画に基づき予防保全的修繕する橋梁件数の累計を活動指標とした。

目的に対する指標（成果指標）

指標	「交通の安全性に満足している」区民の割合				単位	%
最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
30	R7	目標	26.9	—	27	—
		実績	26.9	—	29.6	—
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	28	—	29	—	30	30
実績	32.3					

指標の選定理由及び目標値の理由

予防保全的な補修を計画的に行い橋梁の安全性を高めることが、交通の安全性に満足してる区民割合を高めることになる。

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	長寿命化修繕計画に基づき、予防保全的な工事を着実に進めていく。

課題・問題点

橋梁の健全度は経年で劣化していくことから、計画どおり適宜、適切に予防保全的な工事を実施し、橋梁の長寿命化を図っていく必要がある。
そのため、後期基本計画との整合性を図りながら計画的に執行していく必要がある。

令和3年度　事務事業評価シート

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する	部内優先順位
事業名	無電柱化整備事業費		8
目的	令和元年6月に策定した墨田区無電柱化整備計画に基づき、区道の無電柱化やバリアフリー化、景観整備を計画的・効率的に実施し、都市景観の向上に配慮した安全で快適な道路空間を整備する。		主管課・係（担当） 道路公園課計画調整担当 03-5608-6291
対象者	区民、来街者		
根拠法令関連計画	道路法、無電柱化の推進に関する法律、電線共同溝の整備等に関する特別措置法、墨田区無電柱化基本方針、墨田区無電柱化整備計画		

実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤3、東京都道路整備保全公社

事業内容

墨田区では平成29年度に無電柱化基本方針、令和元年度に無電柱化整備計画を策定し、区内の無電柱化についての基本方針を定めるとともに、今後無電柱化整備を検討する無電柱化対象路線を選定した。
今後、無電柱化対象路線の中から財政推計を考慮しながら、無電柱化整備を推進する。

開始年度	平成19年度	終了予定	—

経過

方針及び計画の策定
[平成29年度]　墨田区無電柱化基本方針の策定
[令和元年度]　墨田区無電柱化整備計画の策定

過去3年間の実績
[令和元年度]　特別区道墨29号路線（見番通り）測量委託
[令和2年度]　特別区道墨29号路線（見番通り）基本設計

議会質問の状況

[平成30年2定]　整備する路線の優先順位はどのように決めていくのか。区民が納得できる決める方法はどのように考えているか。
[平成31年1定]　無電柱化事業の財源の確保について
[平成31年2定]　都市防災の機能の強化が最優先されるべき。木密地域を結ぶ路線を最優先で整備してほしい。

その他特記事項

（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）

他区の計画策定状況（計画策定済み：23区中17区）

予算・決算額推移（千円）		２８年度	２９年度	３０年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
予算現額（事業費）		0	3,020	10,020	1,947	27,610	18,910
A.決算額（令和３年度は見込み）		0	2,061	9,307	1,947	24,829	18,910
財源	国						
	都		2,041	9,176	1,947	18,000	12,000
	その他						
一般財源		0	20	131	0	6,829	6,910
執行率（%）		#DIV/0!	68.2%	92.9%	100.0%	89.9%	100.0%
B.人コスト				26,643	6,789	7,058	
総事業決算額（A+B）		0	2,061	35,950	8,736	31,887	

主な事業費用の説明	・無電柱化整備設計委託、工事

予算書P（令和3年度）	P212 4-7	執行実績報告書P（令和2年度）	P156-8

事業の成果

手段に対する指標（活動指標）

指標	本事業における電線類の地中化整備延長				単位	m
最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
230	R7	目標	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	—	—	—	—	230	230
実績	—					

指標の選定理由及び目標値の理由

令和元年度に策定した無電柱化整備計画の整備延長を目標値とした。

目的に対する指標（成果指標）

指標	「区内の交通環境に満足している」区民の割合				単位	%
最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
85	R7	目標	79	—	80.5	—
		実績	79	—	79	—
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	82	—	83.5	—	85	85
実績	82					

指標の選定理由及び目標値の理由

無電柱化整備及び道路のバリアフリー化を行うことにより、道路環境の改善が図られ、区内の交通環境に対する区民満足度も上昇すると考えられる。

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	国・都からの補助金を十分に確保し、無電柱化対象路線の優先順位を定めて整備していく。

課題・問題点

電線共同溝整備は、多くの事業費や長期間の道路使用制限を強いられるため、管路の浅層埋設などの低コスト手法導入の検討や活用などにより、事業費削減を行う必要がある。
国や都も無電柱化を推進していることから、区市町村向けのの無電柱化に係る財政的・技術的支援を積極的に受けていく必要がある。

令和3年度　事務事業評価シート

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する	部内優先順位
事業名	道路改良費（路面改修工事）		9
目的	区内道路を、歩車道とも一定水準の管理状態に保ち、通行者及び通行車両の安全を確保するため、道路法施行令35条の2第1項第2号の規定による5年に1度の路面性状調査の結果を基に、損傷した道路を順次改修する。		主管課・係（担当） 道路公園課計画調整担当 03-5608-6291
対象者	歩行者、自動車		
根拠法令関連計画	道路法		

実施基準	区独自基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤5

事業内容

区が管理する道路254kmを一定水準に管理するために、計画的に改修を行う。
令和2年度に実施した路面性状調査結果を基に、路面改修事業計画の見直しを行い、損傷度の高い路線を改修する。

開始年度	昭和28年度	終了予定	—

経過

路面性状調査及び路面改修事業計画
［平成28年度］ 計画の見直し
［令和2年度］ 路面性状調査、計画の見直し

過去3年間の実績
［平成30年度］ 路面改修面積：1,550㎡　延長：390m
［令和元年度］ 路面改修面積：2,580㎡　延長：235m
［令和2年度］ 路面改修面積：2,594㎡　延長：277m

議会質問の状況

特になし

その他特記事項

（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）

特になし

予算・決算額推移（千円）		２８年度	２９年度	３０年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
予算現額（事業費）		95,960	41,880	49,883	123,300	95,000	70,000
A.決算額（令和３年度は見込み）		95,877	41,880	47,633	100,130	92,315	70,000
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		95,877	41,880	47,633	100,130	92,315	70,000
執行率（%）		99.9%	100.0%	95.5%	81.2%	97.2%	100.0%
B.人コスト				35, 524	15, 842	11, 469	
総事業決算額（A+B）		95, 877	41, 880	83, 157	115, 972	103, 784	

主な事業費用の説明	・路面改修工事

予算書P（令和3年度）	P211 4-1	執行実績報告書P（令和2年度）	P155-1の一部

事業の成果

手段に対する指標（活動指標）

指標	路面改修事業計画に基づく路面改修延長（累計）				単位	m
最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R１
6,660	R7	目標	900	1,760	2,380	3,000
		実績	1,046	1,319	1,709	1,944
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	3,560	4,180	4,800	5,420	6,040	6,660
実績	2,221					

指標の選定理由及び目標値の理由

路面改修事業計画（Ｈ22策定Ｈ23～28、Ｈ28策定Ｈ29～Ｒ3）における路面改修延長累計を目標値とした。

目的に対する指標（成果指標）

指標	「区内の交通環境に満足している」区民の割合				単位	%
最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R１
85	R7	目標	79	—	80.5	—
		実績	79	—	79	—
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	82	—	83.5	—	85	85
実績	82					

指標の選定理由及び目標値の理由

道路の損傷等を改善させ、歩行者や車両等が安全で快適に通行できる環境を整備することが、交通環境に満足している区民割合を高めることに繋がる。

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
改善・見直しのうえ継続	路面の損傷度により優先順位をつけて整備を進めるほか、占用企業者工事と調整を図り、効率的、経済的に事業を進めていく必要がある。

課題・問題点

早期の工事発注に努め、年度末工事の増加、請負業者の人手不足などにより工事契約の不調を防いでいく。
路面改修事業計画に基づき、事業を着実に進めていく必要がある。

令和3年度　事務事業評価シート

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する	部内優先順位
事業名	道路改良費（公共用地適正化）		10
目的	河川周辺の公共用地（道路用地等）における不法占用物件の除去等にあわせて、適正な管理形態（歩道、緑地等）へ整備する。		主管課・係（担当） 道路公園課計画調整担当 03-5608-6291
対象者	道路や河川の不法占用を行っている沿道区民		
根拠法令関連計画	道路法、河川法		

実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤5

事業内容	荒川（八広地区）や旧中川周辺の法面等公共用地（道路用地や河川用地）において、無許可で出入口を設けた建物が存在している。 敷地が法面等にしか接していない宅地は、建築基準法の接道要件を満たさないため、建替え等に当たり、土地所有者から道路整備の相談がある。 区に相談があった場合は、土地所有者が不法占拠物件を除去し、適正な道路管理へとつなげる好機でもあり、確実に歩道や緑地等の整備を進め、適正な管理形態にしていく。（ただし、開発行為や区の条例等の対象となるマンション建築などの場合は、本事業の対象外とする。）

経過	開始年度	平成29年度	終了予定	—

過去3年間の実績
[平成30年度] 測量及び設計　実績2
工　事　実績1
[令和元年度] 測量及び設計　実績3
工　事　実績2
[令和2年度] 測量及び設計　実績1
工　事　実績1

議会質問の状況	特になし
その他特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 該当公共用地の隣接敷地の建築計画と調整を図り、整備を行う必要がある。

予算・決算額推移（千円）		２８年度	２９年度	３０年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
予算現額（事業費）		0	3,000	38,000	58,600	21,220	61,500
A.決算額（令和３年度は見込み）		0	696	32,685	40,428	21,168	61,500
財源	国						
	都						
	その他						
一般財源		0	696	32,685	40,428	21,168	61,500
執行率（%）		#DIV/0!	23.2%	86.0%	69.0%	99.8%	100.0%
B.人コスト				26, 643	6, 789	12, 351	
総事業決算額（A+B）		0	696	59, 328	47, 217	33, 519	
主な事業費用の説明		・道路改良設計委託、工事					

予算書P（令和3年度）	P211 4-1	執行実績報告書P（令和2年度）	P155-1の一部

事業の成果

手段に対する指標（活動指標）

指標	整備件数（累計）				単位	件
最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R１
11	R7	目標	—	1	4	5
		実績	—	0	1	3
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	6	7	8	9	10	11
実績	4					

指標の選定理由及び目標値の理由

沿道区民から相談があり、交渉成立した場合に整備を行うため、過去の経験から目標値を設定した。

目的に対する指標（成果指標）

指標	「区内の交通環境に満足している」区民の割合				単位	%
最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R１
85	R7	目標	79	—	80.5	—
		実績	79	—	79	—
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	82	—	83.5	—	85	85
実績	82					

指標の選定理由及び目標値の理由

不法占拠物件が撤去された後に歩道整備等を行うことにより、区内の交通環境に満足する区民も増加する。

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	大幅な進捗は困難であるが、区民からの相談を継続的に実施することにより適正な管理形態に整備していく。

課題・問題点

建築計画が発生した際に実施することになり、建築計画の遅れにより実施年度に変更が生じる。
事業の必要性は極めて高く、建築事業者等との調整を密に図り事業の進捗を図っていく。

令和3年度　事務事業評価シート

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する	部内優先順位
事業名	歩行者・自転車通行空間再整備事業費		11
目的	歩行者と自転車が相互に安全で快適な道路利用環境を構築する。		主管課・係（担当） 道路公園課計画調整担当 03-5608-6291
対象者	区民、来街者		
根拠法令関連計画	道路法、東京都福祉のまちづくり条例、自転車活用推進法		

実施基準	法令基準	実施方法	直営	人員体制・委託先	常勤3

事業内容

歩行者と自転車の通行空間を分離することにより、相互に安全で快適な道路利用環境の構築を図ることを目的として、自転車通行空間の整備を行う。
区役所通りは、歩道の拡幅・バリアフリー化、花の咲く街路樹への植替えを行い、安全・安心だけではなく快適性も兼ねた通行空間へと整備を行う。

開始年度	平成27年度	終了予定	—

経過

過去3年間の実績
［平成30年度］　区役所通り【道路バリアフリー化】
［令和元年度］　北斎通り【自転車ナビマーク・ナビライン】
　　区役所通り【道路バリアフリー化・自転車レーン】

議会質問の状況

［平成28年予特］ 区役所通りの自転車レーン整備は、浅草通りから新大橋通りまで行うべきである。
［平成31年予特］ 区全体の自転車レーン整備計画を作成し、整備を進めるべきである。

その他特記事項

（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等）

自転車レーン等の配置計画を、墨田区自転車活用推進計画に盛り込む。

予算・決算額推移（千円）		２８年度	２９年度	３０年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
予算現額（事業費）		25,000	27,210	185,100	233,600	2,900	0
A.決算額（令和３年度は見込み）		13,057	262,458	184,998	217,831	2,769	0
財源	国		51,865	36,000	45,500		
	都	1,110	21,217	18,000	28,149		
	その他						
一般財源		11,947	189,376	130,998	144,182	2,769	0
執行率（%）		52.2%	964.6%	99.9%	93.2%	95.5%	#DIV/0!
B.人コスト				26, 643	6, 789	7, 058	
総事業決算額（A+B）		13, 057	262, 458	211, 641	224, 620	9, 827	

主な事業費用の説明	・道路バリアフリー化・自転車レーン設計委託

予算書P（令和3年度）	無し	執行実績報告書P（令和2年度）	P155-5

事業の成果

手段に対する指標（活動指標）

指標	自転車通行空間整備延長（累計）				単位	km
最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
8.7	R7	目標	0	0	0	2.1
		実績	0	0	0	2.1
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	2.4	3.8	4.5	6.7	8.2	8.7
実績	2.1					

指標の選定理由及び目標値の理由

事業の進捗が把握できる自転車通行空間の整備延長を目標値とした。

目的に対する指標（成果指標）

指標	「区内の交通環境に満足している」区民の割合				単位	%
最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R1
85	R7	目標	79	—	80.5	—
		実績	79	—	79	—
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	82	—	83.5	—	85	85
実績	82					

指標の選定理由及び目標値の理由

歩行者と自転車の通行空間の分離、自転車レーンの設置、歩道のバリアフリー化等といった道路改善を行うことにより、区内の交通環境に満足する区民も増加する。

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	都道・国道に自転車レーン等の設置が増えていることから、幹線道路とのネットワーク化を進めるため区道においても拡充する必要がある。

課題・問題点

都道、国道などの幹線道路の自転車レーン等整備状況を踏まえた区道への自転車レーン等配置計画を検討し、ネットワーク化を進めていく必要がある。
なお、配置計画は、今後策定する墨田区自転車活用推進計画に盛り込むこととし、本計画に基づいた整備を進める必要がある。

令和3年度　事務事業評価シート

施策	222	安全で快適な暮らしを支える、便利な交通環境を形成する	部内優先順位
事業名	錦糸町駅周辺自転車総合管理事業費		12
目的	錦糸町駅周辺に放置自転車がなく安心して通行できる。 自転車駐車場が適正に管理されて利用者が気持ちよく利用できる。		主管課・係（担当） 土木管理課交通安全担当 03-5608-6203
対象者	自転車利用者		
根拠法令 関連計画	墨田区自転車の利用秩序及び自転車駐車場の整備に関する条例 墨田区自転車利用総合方針		

実施基準	区独自基準	実施方法	全部委託	人員体制・委託先	常勤2、委託先：芝園開発株式会社

事業内容	①自転車駐車場管理業務（自転車駐車場の運営業務） ②駅周辺自転車整理業務 （放置自転車に警告札の貼付等の業務） ③放置自転車撤去業務 （撤去自転車の積込み、保管所への運搬等の業務） ④撤去自転車返還業務 （放置自転車の返還やデータ入力等の業務）			
経過	開始年度	平成29年度	終了予定	なし
	平成29年4月から民間事業者に錦糸町駅周辺の自転車駐車場の運営管理、放置自転車対策を委託 放置自転車台数が437台から214台に減少し、これにより錦糸町駅は、放置自転車が多い駅ワースト3位から30位になった、その後継続的に放置自転車台数が減少し令和2年度は95台（ワースト66位）になっている。 平成30年度　146台　53位 令和 元年度　118台　61位 令和 2年度　95台　66位			
議会質問の状況	［平成29年4定］ 元シルバー人材センター会員の雇用に関すること ［令和2年3月］ 高齢者の雇用について			
その他特記事項	（他区の状況・年間スケジュール・関連部署等） 特になし			

予算・決算額推移（千円）		２８年度	２９年度	３０年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
予算現額（事業費）			130,140	133,322	136,300	151,265	150,728
A.決算額（令和３年度は見込み）			130,140	133,322	136,300	151,265	150,728
財源	国						
	都						
	その他				19,785	78,303	72,825
一般財源		0	130,140	133,322	116,515	72,962	77,903
執行率（%）		#DIV/0!	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
B.人コスト				3,937	3,495	6,175	
総事業決算額（A+B）		0	130,140	137,259	139,795	157,440	
主な事業費用の説明		錦糸町駅周辺の放置自転車の警告、撤去、保管、返還、自転車駐車場の管理運営を一括委託して運営する。					

予算書P（令和3年度）	P214 6-7	執行実績報告書P（令和2年度）	P157-7

事業の成果

手段に対する指標（活動指標）

指標	錦糸町駅周辺の放置自転車撤去台数					単位	台/年
最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
3,000	R7	目標	8,000	7,000	6,000	5,000
		実績	8,775	8,164	7,691	6,430
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	4,000	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000
実績	5,315					

指標の選定理由及び目標値の理由

放置自転車を警告撤去することで放置自転車を削減できる。

目的に対する指標（成果指標）

指標	錦糸町駅周辺の放置自転車台数					単位	台
最終目標値	目標年度		基準年(H28)	H29	H30	R 1
50	R7	目標	400	300	200	150
		実績	437	214	146	118
	R2	R3	R4	R5	R6	R7
目標	100	90	80	70	60	50
実績	95					

指標の選定理由及び目標値の理由

錦糸町駅周辺の放置自転車の状況が確認できる指標であるため

評価結果	評価についての説明・今後の方向性等
現状維持	自転車駐車場管理及び放置自転車の警告、撤去、保管、返還を一括で実施することにより、放置自転車台数は毎年減少している。引き続き、最終目標値である50台を達成するため、今後も警告撤去に努めていく。

課題・問題点

民間委託化導入後5年が経過するため、次期事業者の決定と引継ぎを円滑に進める必要がある。
高齢者の雇用確保と業務の効率化のバランスを取ることが課題である。